

入選

牧内 杏奈 (まきうち あんな) 第五小 3年生

作品名：人にやさしくする大切さ

図 書：小公女セーラ

わたしは「小公女セーラ」という本を読みました。この本を選んだ理由は、世界の名作だったからです。

この本は、セーラが主人公の物語で大金持ちから下働きになってもお父さんのようなやさしさをわすれずに、いつも人に親切にして思いやりのある女の子の物語です。

わたしは、この本を読んで一番心に残ったところは、セーラがパン屋で買った六つのロールパンを、お店の前にいたやせこけた女の子に五つもあげたところです。自分も、あまり食べ物を食べていないのに五つもあげられるやさしさがあるなんてすごいと思いました。わたしはこの部分を読んで、自分よりもくるしそうにしていたり、かなしそうにしていたりしている人がいたら、やさしく親切にして思いやりのあるセーラのような女の子になりたいと思いました。

なぜならもし、わたしがセーラと同じような立場だったらと考えるとあまりたべていない自分と自分よりたべられていない子がいても、五つもあげられるやさしさは、わたしには少ししかないと思うからです。

わたしはこの本から、人にはやさしく、くるしそうにしている人がいたらたすけると言うことを学びました。これからは、セーラのようなやさしい女の子になって家族、近所の人、やさしいおいしいちゃんおばあちゃん、友だち、お世話になっている人にもっとやさしくしていきます。